資料４－１

２つの計画の関係性

＜環境教育行動計画＞
平成19年策定

静岡市環境教育基本方針（方向性を示す方針）

令和2年策定

静岡市環境教育行動計画（実行性を持たせる計画）

役割
・各個別計画に対して、横断的な関わり
・環境に関わる様々な分野において、
　環境に配慮した「人」を育む
↓
各分野における担い手育成・協働促進に貢献

第２次静岡市環境基本計画

基本方針：人々が豊かな環境を育み　環境が健やかな人を育むまち・静岡

- 環境教育 ― 環境教育行動計画（今回新規策定）
- 生活環境　住み良さを実感できる生活環境をつくります
- 自然環境　豊かな自然環境を守り、次の世代へつないでいきます
  - 第２次生物多様性地域戦略（今回改定）
  - 南アルプスユネスコエコパーク管理運営計画
- 地球環境　総合的に地球温暖化対策に取り組みます ― 第２次地球温暖化対策実行計画
- 循環環境　環境に配慮した廃棄物政策を推進します
  - 静岡市一般廃棄物処理基本計画
  - 静岡市産業廃棄物処理対策推進方針

環境教育・行動の実践の場（豊かな自然環境）としての貢献

生物多様性保全に向けた、担い手育成・各主体の協働促進

＜生物多様性地域戦略＞

2020：生物多様性の考え方の普及と保全・再生の着手　　第1次地域戦略（2010～2020年）

次期目標　2030：社会・自然の変化に対応した生物多様性への理解・協働推進による保全・再生の拡大　　第2次地域戦略（2021～2030年）

2040：多様化する人と自然の有機的な連携の拡大と定着（仮）

ゴール　2050：生きものとの共生による、健康で豊かな暮らしを次世代に受け継いでいく社会